

風薫る五月…というよりも、いきなり夏のようなお天気ですが、子ども達は皆 元気いっぱい、明るい陽射しの中を 汗びっしょりで走り回っています。4月からの新入児達も ここで過ごす時間や環境に すこしずつ安心できるようになってきた様子で、涙混じりの心細そうな表情から可愛らしい笑顔が見られるようになってきました。ひとりひとりの 小さな心に寄り添いながら “ここが自分の居場所” と感じられることができるよう、優しい想いあふれる 在園児達と共に 一日一日 ひと時ひと時を大切に 手を繋ぎ 祈りを合わせつつ 歩んで行きたいと思っています。

先月は保護者会総会に お忙しい中にも拘らず、お集まり頂きましてありがとうございました。今年1年分の保育園生活について 出来る限り お伝えしたいとの思いから 毎年 プログラムが 盛り沢山な上、様々な内容を一方的にお伝えする形となってしまいますこと おゆるください。長時間ご協力頂きまして ありがとうございました。後日 お寄せ頂きました アンケートを含め、皆様より心温まるご感想やご意見等も いつも大きな力になっており、重ねて感謝申し上げます。

ゴールデンウィークが終わると いよいよ 本格的な園生活のスタートです。今年の いるか組は どんないリーダーシップを見せてくれるでしょう…。真面目で 純粋で 責任感あふれる9名です。様々なことにチャレンジしながら、ひとりひとりが自分の “心” をたくさん動かして感じ合う 経験を重ねる中で、それぞれが 神様から与えられた 自分自身の 貴い命や賜物を愛せるように また、互いを 想い合い、愛しみ合い、助け合うことを通して、共に生きる仲間としての心の絆、信頼関係を しっかりと築いていけるように、ひとりひとりの意識を 丁寧に支えていきたいと思っています。保育園や幼稚園等の生活は、子ども達にとって 人生で初めての社会生活です。社会生活とは、人との様々な関わり合いであり、人間関係の構築が 重要な基盤となるものです。健全な人間関係を築く上で 何よりも大切なことは、相手の立場や気持ちを想う “思いやり” であり 人との “分かち合い” です。そして それは、頭脳や知識ではなく “心の力” なのです。人が生きる上で 最も大切なこと、人間関係においてどんな時も重要なのは 心を使うことです。神様は、この世の 生きとし生けるものの中で、唯一、人間にのみ “心” を 与えられました。『想う』『祈る』『信じる』『愛する』…など、これらはすべて 心でしか出来ないことです。『希望』『夢』『勇気』…など、これらを心に抱くことで 生きる力や 元気が 湧いてきます。目に見えない “心” を大切にすること、目に見えないからこそ 懸命に心を使って想いやること、生まれたばかりの赤ちゃんの時から 天国へ召されるその瞬間まで、人が人として生きるために すべての人の心は尊重されるものであり愛によって育まれなくてはならないものだと思います。

以下は、私達職員が 毎朝の礼拝の中で読んでいる 本の中の一節ですが 心に染み入りました。『教育の根本は、技術ではありません。知識でもないのです。もしも子どもたちが知識と技術だけで育つのなら、現場の教師よりも、優れた教育機器、視聴覚教材、百科事典の類で 事足りるでしょう。ところが、これらのものが いくら精巧に出来ていても、子どもたちに与えることができないもの、そして、それ無しには、人間は人間らしく育たないものがあります。それを「心」と言うのです。』『巨億を費やしても いかに優秀な頭脳を集めても、研究所で決して合成することの出来ない薬、人の心のさびしさを癒やし、人に生きる勇気を与える薬、それは「愛」と呼ばれます。』（渡辺和子 著「どんな時でも 人は笑顔になれる」PHP 出版社 より抜粋）

人生の はじめの一步、その “人となり” を形成する礎を築く乳幼児期を共に歩むことができる 幸いと喜び以上に 重たい責任を改めて痛感していますが、子ども達にとっての最善を最優先に 職員皆で心を尽くして愛を注ぎ、全身全霊でぶつかりながら、人として心を育み合って参ります。改めましてどうぞよろしくお願い申し上げます。皆様の上に神様の祝福を祈りつつ…(石田 記)
「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。

神はまた、人の心に永遠への想いを与えられた。(旧約聖書 伝道者の書 3:11)」